授業科目（単位―時間）	時　　期	担　当　講　師
解剖生理学Ⅰ～Ⅳ（各１単位－30 時間）	１年前期・後期	賀佐　伸省

〈　授業科目の目標・概要等　〉

人体の解剖学と生理学は生化学と並んで医学の基礎的学問である。人体を構築する器官、組織のしくみを解剖学で学び、これらの連携と調和がもたらす生命現象のしくみを生理学で把握することが本講義の目的である。病態とは正常状態から逸脱した現象であり、正常状態を知らずして病態を語ることは不可能である。従って、本講義では正常な人体の構造とその働きを知ることを基本とし、病態への変化を理解することを目標とする。

内　　容	方　　法
本講義を４つのパートに分け、実践的な補填授業として任意に人体標本の見学を行う。	
Ⅰ　第１章　解剖生理学を学ぶための基礎知識 第２章　栄養の消化と吸収 第７章　からだの支持と運動	講義・スケッチ（30 時間）
Ⅱ　第３章　呼吸と血液のはたらき 第４章　血液の循環とその調節	講義・スケッチ（30 時間）
Ⅲ　第６章　内臓機能の調節 第８章　情報の受容と処理	講義・スケッチ（30 時間）
Ⅳ　第５章　体液の調節を尿の生成 第９章　外部環境からの防御 第１０章　生殖・発生と老化のしくみ	講義・スケッチ（30 時間）

〈　評　　価　〉

パート毎の筆記試験とスケッチ、小テスト、レポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

坂井　建雄：系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能[1]　解剖生理学，第 10 版，東京，医学書院，584p，2018.
横地　千仞：カラーアトラス 人体　解剖と機能（第 4 版），医学書院，2013.

授業科目（単位―時間） 生化学（1単位－30時間）	時　　期 1年　前期	担　当　講　師 有木　茂

〈　授業科目の目標・概要等　〉

生命体は種々の生体物質によって有機的に構築されており、生命活動はそれらの物質が細胞レベルで秩序性と平衡性を持って機能することにより発現している。本講義は正常状態におけるこれらの物質の性質とその存在様式およびそれらの生体内での恒常性や動きと変化（代謝）学ぶことにより、病態を正しく理解することを目的とする。

内　　容	方　法
【前半】 1. 生化学の基礎 2. 糖質 3. 脂質 4. タンパク質 5. 核酸 6. 水と無機質 7. ホルモン 【後半】 8. 代謝のあらまし 9. 酵素 10. ビタミンと補酵素 11. 糖質代謝 12. 脂質代謝 13. タンパク質代謝 14. 核酸代謝 15. ポルフィリン代謝 16. 遺伝情報とその発現	講義・レポート（30時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験とレポートを総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

三輪　一智：系統看護学講座　専門基礎分野　人体の構造と機能[2]　生化学, 第14版, 東京, 医学書院, 320p, 2019.

授業科目（単位―時間） 薬理学（１単位－30 時間）	時　　期 １年　後期	担　当　講　師 河合　陽香　・今泉　慶介

〈　授業科目の目標・概要等　〉

薬物の種類と特徴を学び、人体へ与える作用・副作用に関する基礎的知識および薬物の取り扱いと管理について学ぶ。

内　　容	方　　法
1. 薬物療法の目ざすもの	講義（2 時間）
2. 薬が作用するしくみ	
3. 薬の体内挙動（薬物動態学）	講義（2 時間）
4. 薬効に影響する因子	
5. 薬物使用の有益性と危険性	講義（2 時間）
6. 薬理学各論 1) 抗感染症薬 2) 抗がん剤 3) 免疫治療薬 4) 抗アレルギー薬・抗炎症薬 5) 末梢での神経活動に作用する薬物 6) 中枢神経系に作用する薬物 7) 循環器系に作用する薬物 8) 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物 9) 物質代謝に作用する薬物 10) 皮膚科用薬・眼科用薬 11) 救急の際に使用される薬物 12) 漢方薬 13) 消毒薬	講義（24 時間）

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験５割を総合して評価する。

〈　テキスト　〉

吉岡　充弘：系統看護学講座　専門基礎　疾病の成り立ちと回復の促進[2]　薬理学，第 14 版，医学書院，東京，352p，2018.

〈　参考文献　〉

井上智子他：系統看護学講座　別巻　臨床薬理学，第１版，医学書院，東京，331p，2017.

授業科目（単位―時間） 微生物学（１単位－30 時間）	時　　期 １年　前期	担　当　講　師 横田　伸一

〈　授業科目の目標・概要等　〉

感染症の原因となる、病原微生物あるいは感染性病原体の性状、感染経路等を理解することによって微生物と生体との関わりを学ぶ。さらに、感染症への対応、院内感染の予防方法等について理解するとともに治療法の基礎を学ぶ。

内　　容	方　　法
1. 感染症の三要素	講義（2 時間）
2. 細菌、真菌、ウイルスの生物学的特徴	講義（2 時間）
3. 感染症の種類	講義（2 時間）
4. 感染経路	講義（2 時間）
5. 感染免疫Ⅰ	講義（2 時間）
6. 感染免疫Ⅱ	講義（2 時間）
7. 院内感染予防策、スタンダード・プリコーション	講義（2 時間）
8. 滅菌と消毒	講義（2 時間）
9. 予防接種（ワクチン）	講義（2 時間）
10. 感染症法、抗生物質と化学療法	講義（2 時間）
11. 細菌学各論Ⅰ	講義（2 時間）
12. 細菌学各論Ⅱ	講義（2 時間）
13. 細菌学各論Ⅲ、ウイルス学各論Ⅰ	講義（2 時間）
14. ウイルス学各論Ⅱ	講義（2 時間）
15. ウイルス学各論Ⅲ、真菌学各論	講義（2 時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

藤本秀士編著：わかる！身につく！病原体・感染・免疫，改訂 3 版，東京，南山堂，2017.

参考書：図解　微生物学・感染症・化学療法，南山堂，2014.

授業科目（単位―時間） 病理学（１単位－30 時間）	時　　期 １年　前期	担　当　講　師 安彦　善裕

〈　授業科目の目標・概要等　〉

人間の組織・細胞変化を理解する。

人間の細胞・組織の病的変化を学び、健康回復のために必要な知識を身につける。

内　　容	方　　法
1. 病理学とは	講義(2 時間)
2. 疾病のさまざまな原因（内因・外因・素因）	講義(2 時間)
3. 先天異常	講義(2 時間)
4. 代謝障害	講義(2 時間)
5. 循環障害	講義(2 時間)
6. 炎症と免疫	講義(2 時間)
7. 感染症	講義(2 時間)
8. 腫瘍	講義(2 時間)
9. 各論	
1) 循環器系の疾患	講義・スライド（4 時間）
2) 血液・造血器系の疾患	
3) 呼吸器系の疾患	講義・スライド（4 時間）
4) 消化器系の疾患	
5) 泌尿器・生殖器系の疾患	講義・スライド（4 時間）
6) 内分泌系の疾患	
7) 脳・神経の疾患	講義・スライド（2 時間）
8) 運動器系の疾患	
9) 耳・眼・皮膚の疾患	

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

大橋　健一：系統看護学講座　専門基礎分野　疾病の成り立ちと回復の促進[1]　病理学，第６版，医学書院，東京，376p，2021.

授業科目（単位―時間） 病態生理学Ⅰ（1 単位－30 時間）	時　期 1 年　後期	担　当　講　師 宮野　須一・田口　宏一・吉田　行範 森川　啓子・加藤　和彦

〈　授業科目の目標・概要等　〉

主な疾病の誘因・原因・症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。

内　　容	方　法
1. 骨・筋系	講義（6 時間）宮野
1) 骨・関節の疾患の病態	
(1) 骨折、脱臼、捻挫　(2) 骨粗しょう症　(3) 腫瘍（骨肉腫）	
(4) 変形性関節症　(5) 腰痛症（椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症）	
(6) 炎症性疾患（骨髄炎、関節炎、関節リウマチ）　(7) 脊髄損傷	
2) 検査・治療	
(1) ギプス固定　(2) 人工関節置換術　(3) 四肢切断	
2. 内分泌・代謝系	講義（10 時間）吉田
1) 内分泌の疾患の病態	
(1) ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ･ﾋﾟﾛﾘ、肥満症　(2) 糖尿病　(3) 脂質異常症	
(4) 高尿酸血症、痛風　(5) Ⅰ型・Ⅱ型糖尿病　(6) 脂肪肝	
2) 検査・治療	
(1) 糖負荷試験（OGTT ）(2) インスリン補充療法	
(3) 糖尿病経口薬による治療　(4) 食事・運動療法	
3. 消化器系	講義（10 時間）田口
1) 消化器の疾患の病態	
(1) 上部消化管の疾患の病態	
①炎症性疾患（逆流性食道炎、急性・慢性胃炎）	
②腫瘍（食道がん・胃がん）	
③ﾍﾘｺﾊﾞｸﾀｰ･ﾋﾟﾛﾘ感染症、潰瘍性疾患（胃・十二指腸潰瘍）	
(2) 下部消化管の疾患の病態	
①炎症性疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病、虫垂炎）　②イレウス	
(3) 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態	
①炎症性疾患（肝炎、胆管炎、膵炎）　②肝硬変	
③腫瘍（肝癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌）	
2) 検査・治療	
(1) 上部・下部消化管内視鏡　(2) 内視鏡的逆行性胆管膵管造影	
(3) 食道切除術・胃切除術・大腸切除術・腹腔鏡下手術	
(4) 人工肛門造設	
4.　理学療法と言語療法	講義（2 時間）森川
1) 理学療法	
(1) 関節可動域測定と関節可動域訓練　(2) 徒手筋力テスト	
(3) 麻痺のある患者に対する評価	
2) 言語療法	講義（2 時間）加藤
(1) 失語症に対する言語療法	
(2) 嚥下障害のアセスメントと経口摂取訓練	

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、骨・筋系 3 割、内分泌・代謝系 3 割、消化器系 4 割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

加藤　光宝：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器，第 15 版，東京，医学書院，341p，2019.

吉岡　成人：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[6]　内分泌・代謝，第 15 版，東京，医学書院，331p，2019.

松田　明子：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5]　消化器，第 15 版，東京，医学書院，490p，2019.

授業科目（単位―時間） 病態生理学Ⅱ（１単位－30 時間）	時　　期 1 年　後期	担　当　講　師 國島　康晴・廣海　弘光 山内　理香

〈　授業科目の目標・概要等　〉

主な疾病の誘因・原因・症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。

内　　容	方　　法
1. 腎・泌尿器系	講義（10 時間）國島
1) 腎・泌尿器の疾患の病態	
(1) 腎移植　(2) 急性腎不全　(3) 慢性腎不全　(4) 腎・尿管結石	
(5) 腫瘍(腎がん、膀胱がん)　(6) 前立腺肥大	
(7) 炎症性疾患(腎盂腎炎、膀胱炎)	
(8) 排尿障害(過活動膀胱、腹圧性尿疾患、夜尿症)	
(9) 男性不妊症	
2) 検査・治療	
(1) 尿流動態測定　(2) 残尿測定　(3) 膀胱鏡　(4) 膀胱切除術	
(5) 前立腺切除術　(6) ホルモン療法　(7) 血液透析	
(8) 腹膜透析	
2. 呼吸器系	講義（10 時間）廣海
1) 呼吸器の疾患の病態	
(1) 炎症性疾患(気管支炎、肺炎、間質性肺炎、胸膜炎)	
(2) 気管支喘息　(3) 慢性閉塞性肺疾患　(4) 肺結核	
(5) 気胸　(6) 腫瘍(肺がん、中皮腫)	
2) 検査・治療	
(1) 動脈血ガス分析　(2) 気管支鏡検査　(3) 胸腔穿刺	
(4) 肺穿刺	
3. 脳神経系	講義（10 時間）山内
1) 中枢神経系の疾患の病態	
(1) 脳血管障害(脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、もやもや病)	
(2) 頭蓋内圧亢進症　(3) 頭部外傷、　(4) 脳腫瘍	
(5) 変性疾患(パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症<ALS>)	
(6) 脱髄疾患(多発性硬化症)	
2) 末梢神経系の疾患の病態	
(1) ギラン・バレー症候群　(2) 顔面神経麻痺（ベル麻痺）	
3) 検査・治療	
(1) 脳波検査　(2) 髄液検査　(3) 脳血管造影　(4) 開頭術	
(5) 穿頭術　(6) 血管内治療・バイパス手術	
(7) 脳質―腹腔<V-P>シャント術	

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、腎・泌尿器系 3 割、呼吸器系 4 割、脳神経系 3 割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

阿部　信一：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[8] 腎・泌尿器，第 15 版，東京，医学書院，343p，2019.
山下　香枝子：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[2] 呼吸器，第 15 版，東京，医学書院，387p，2019.
竹村　信彦：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経，第 15 版，東京，医学書院，422p，2019.

授業科目（単位―時間） 病態生理学Ⅲ（1 単位－30 時間）	時　　期 2 年前期	担　当　講　師 平林　高之・新崎　人士 砂川市立病院医師・細田　充主

〈　授業科目の目標・概要等　〉

主な疾病の誘因・原因・症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。

内　　容	方　　法
1. 循環器疾患 1) 循環器の疾患の病態 (1) 虚血性心疾患（狭心症、急性冠症候群） (2) 心筋症（肥大型・拡張型） (3) 心不全（急性心不全、慢性心不全）　(4) 心タンポナーデ (5) 不整脈（上室性頻脈性不整脈、心室性不整脈、徐脈性不整脈） (6) 炎症性疾患（感染性心内膜炎、心筋炎） (7) 弁膜症（大動脈弁・僧帽弁疾患）　(8) 動脈硬化症 (9) 高血圧症（本態性・二次性）　(10) 閉塞性動脈硬化症 2) 検査・治療 (1) 心電図　(2) 心臓カテーテル検査 (3) 経皮的冠動脈形成術（PCI） (4) 大動脈内バルーンパンピング（IABP）　(5) ペースメーカー (6) 植え込み型除細動器　(7) 血管溶解法、血栓除去術 (8) 開心術	講義（14 時間）平林
2. 血液疾患 1) 血液・造血器の疾患の病態 (1) 貧血（鉄欠乏性・溶血性・巨赤芽球性、二次性） (2) 骨髄異形成症候群　(3) 白血球減少症 (4) 出血性疾患（血栓性血小板紫斑病、免疫性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固） (5) 腫瘍（白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫）	講義（8 時間）新崎
3. 女性生殖器疾患 1) 妊娠期の健康問題 (1) 不育症　(2) 流産　(3) 早産 2) 検査・治療 (1) ヒトパピローマ検査　(2) ホルモンの変化と検査・治療 3) 女性生殖器の疾患の病態 (1) 子宮筋腫　(2) 子宮内膜症　(3) 卵巣の良性腫瘍 (4) 子宮頸がん、子宮体がん、卵巣の悪性腫瘍 (5) 生殖機能障害（月経異常・更年期障害）　(6) 性感染症 (7) 不妊症（男性不妊症・女性不妊症）	講義（6 時間） 砂川市立病院医師
(8) 乳がん	講義（2 時間）細田

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、循環器系 5 割、血液疾患系 3 割、女性生殖器系 2 割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

吉田　俊子：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[3]循環器，第 15 版，東京，医学書院，420p，2019.
飯野　京子：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[4] 血液・造血器，第 15 版，東京，医学書院，256p，2019.
末岡　浩：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[9] 女性生殖器，第 15 版，東京，医学書院，384p，2019.

授業科目（単位―時間） 病態生理学Ⅳ（１単位―30 時間）	時　　期 ２年　前期	担　当　講　師 内海　久美子・菊地　成佳・雨森　英彦 渋谷　雅之・村田　敏宏

〈　授業科目の目標・概要等　〉

主な疾病の誘因・原因・症状の理解を深め、治療・看護へ関連付けて理解する。

内　　容	方　　法
1. 精神疾患 1) 精神・心身の疾患の機能と病態 (1) 器質性精神障害（ｱﾙﾂﾊｲﾏｰ病、血管性認知症、ﾚﾋﾞｰ小体型認知症、せん妄） (2) 精神物質使用による精神・行動の異常（ｱﾙｺｰﾙ依存症、覚醒剤・大麻精神病） (3) 統合失調症　(4) 気分〈感情〉障害（うつ病双極性障害） (5) 神経症性障害、ストレス関連障害（パニック障害、心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉、適応障害） (6) 生理的障害、身体的要因に関連した精神障害または行動症候群（摂食障害、不眠症、ナルコレプシー、睡眠時無呼吸症候群） (7) パーソナリティ障害　(8) 心理的発達障害（神経発達障害群） (9) 性同一性障害　(10) 知的障害　(11) 小児精神疾患（知的能力障害、自閉症スペクトラム）	講義（12 時間）内海
2. 小児疾患 1) 小児呼吸器・循環器疾患の病態 (1) クループ (2) 急性細気管支炎 (3) 気管支喘息 (4) 心房・心室中核欠損症 (5) 動脈管開存症　(6) ファロー四徴症 (7) 完全大血管転位症　(8) 川崎病 2) 小児消化器・内分泌疾患の病態 (1) 口蓋裂　(2) 肥厚性幽門狭窄症　(3) 鎖肛　(4) 腸重積 (5) 胆道閉鎖症　(6) 成長ホルモン分泌不全性低身長症 (7) 思春期 3) 小児神経・運動器疾患の病態 (1) 痙攣性疾患　(2) 脳性麻痺　(3) ギラン・バレー症候群 (4) 先天性疾患（股関節脱臼、内反足、斜頸、脊椎側湾症） 4) 小児泌尿器疾患の病態 (1) 急性糸球体自然　(2) ネフローゼ　(3) ループス腎炎 5) 小児感染症 (1) 麻疹・風疹・水痘、耳下腺炎　(2) 伝染性紅斑　(3) 突発性湿疹 (4) 手足口病　(5) 細菌性髄膜炎　(6) アデノウイルス感染	講義（8 時間）菊地
3. クリティカルケアの基本 1) ショックの病態と診断・治療　2) 手術による生体反応と管理 3) 麻酔の効果と生体への影響	講義（4 時間）雨森
4. 放射線療法　1) 画像診断　2) 放射線による障害と防護	講義（2 時間）村田
5. 臨床検査 1) 生体検査（生理機能検査、画像検査）2) 血液学的検査	講義（4 時間）渋谷

〈　評　　価　〉

各担当講師の筆記試験により、精神疾患６割、小児疾患４割を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

武井麻子他：系統看護学講座　専門分野Ⅱ 精神看護学[1]精神看護の基礎，第４版，東京，医学書院，416p，2017.
奈良間美穂他：系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学[2]小児臨床看護各論，第 14 版，東京，医学書院，600p，2020.
古瀬　信：系統看護学講座　別巻　臨床放射線医学，第 10 版，東京，医学書院，304p，2021.
矢永勝彦他：系統看護学講座　別巻　臨床外科看護総論，第 14 版，医学書院，422p，2017.

授業科目（単位―時間） 病態生理学Ⅴ（1 単位―30 時間）	時　　期 2 年　前期	担　当　講　師 槙　麻夕子

〈　授業科目の目標　〉

1. 看護学の立場から、正常な人体の構造と機能をふまえたうえで異常（逸脱した状態）を考察できる。
2. 身体の働きの乱れが日常生活に及ぼす影響を知り、看護の視点で病気を捉えることができる。
3. 発表を通し、プレゼンテーション能力と専門的な視点で物事の本質を捉える力を養う。
4. 自己の役割を認識し、主体的・計画的に学習に取り組む態度を養う。

単元	単元目標	内容	方法
1. 看護の視点での病気の捉え方	1. 看護の視点で病気を捉える意義を理解する。 2. 人間の生命力と正常な細胞の造り替えを理解する。 3. 細胞の造り替えが脅かされる視点で障害を捉えられる。 4. 回復過程を促進させる看護につながる病態のみつめ方を理解する。	1. 看護の視点で視ると人間が病むとはどういうことか 1)病気をみつめる看護の視点 2)人体が備えている回復システム 2. 人間の生命力と脅かす力 1)人間の生命力と細胞のつくりかえ 2)細胞を脅かす力とがんの本質 3. 看護の視点で病気をみつめるための思考過程 1)人体を構成する細胞たちの性質や特徴や形状を把握する (1)組織・器官の特徴（解剖学的特徴） (2)形成する細胞の特徴 2)その病気を形成する細胞や組織の壊れ方、異常事態への陥り方を知る (1)細胞・組織の生理機能 (2)ポイゾニングとディケイ 3)その細胞たちが壊れた時(常態を保てなくなった時)、人体全体にどのような影響が出るかを知る (1)症状と発生のメカニズム (2)病状の経過 (3)主な治療のねらい・意味 4)その悪影響から人体を守ろうとする(人体に備わっている)回復システムを知る（ex. 細胞の造り替え等） 5)日常生活への影響と看護の要点	講義（6 時間）
2. 看護の視点での病気の捉え方の実際	1. 事例について、看護の視点で病気をみつめることができる。 2. 自己の役割を意識し、学習目標達成に向けて主体的･計画的に学習に取り組むことができる。 3. 看護の視点で、他者と学習内容の共有、疑問解決への追求ができる。	1. 看護につながる病態の把握の実際 1)解剖学的特徴と細胞の特徴 2)細胞･組織の生理機能と異常事態への陥り方（ポイゾニング･ディケイ） 3)細胞の異常による人体全体への影響 (1)症状と発生のメカニズム (2)病状の経過 (3)主な治療のねらい・意味 4)回復システム 5)日常生活への影響と看護の要点 6)病態関連図 2. 学習内容の共有に向けた取り組みと実施	GW 演習 （18 時間） 発表・まとめ （6 時間）

〈　評　　価　〉　　評価表に基づき評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

田中越郎：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病のなりたちと回復の促進[2]病態生理学，第 2 版，東京，医学書院，297P，2016.
坂井　雄：系統看護学講座　専門基礎分野 人体の構造と機能[1]　解剖生理学，第 10 版，東京，医学書院，584p，2018.
大橋健一：系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[1]病理学，第 6 版，医学書院，東京，376p，2021.
金井ひとえ：実践を創る新看護学原論，第 1 版，東京，現代社，277P，2012.
金井一薫：新版ナイチンゲール看護論･入門，第 1 版，東京，現代社，277P，2019.

授業科目（単位―時間） 栄養学（1単位－30時間）	時　　期 1年 後期	担　当　講　師 工藤　祐司

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. 食品及び栄養素が生体機能・代謝に及ぼす影響を理解する。
2. 疾患の予防・治療における食品及び栄養素の果たす役割を理解する。
3. 病院における給食の内容を理解する。
4. 臨床栄養を演習によって理解する。

内　　容	方　　法
1. 栄養学と看護	講義（2時間）
2. 栄養状態の評価・判定	講義（4時間）
3. 栄養素の種類と働き	講義（4時間）
4. 栄養素の消化・吸収	講義（2時間）
5. 栄養ケア・マネージメント	講義（2時間）
6. ライフステージと栄養	講義（4時間）
7. 臨床栄養	調理演習（8時間）
8. 臨床栄養実習	講義(2時間)
9. 健康づくりと食品・食事・食生活	講義(2時間)

〈　評　　価　〉

試験・出席状況・授業態度など総合して評価する。

〈　テキスト　〉

中村　丁次：系統看護学講座 専門基礎 人体の構造と機能[3] 栄養学，第13版，東京，医学書院，296p，2020.
中村　丁次：系統看護学講座 別巻 栄養食事療法，第3版，東京，医学書院，272p，2020.

〈　参考文献　〉

香川　昭夫監修：食品成分表2021，初版，東京，女子栄養大学出版部，848p，2021.

授業科目（単位―時間） 臨床心理学（1 単位－15 時間）	時　　期 3 年　前期	担　当　講　師 臨床心理士

〈　授業科目の目標・概要等　〉

臨床心理学とは、心の悩みやそれを原因とした体の不調などに苦しむ人に対して心理学の知識や様々な技法を用いて援助することを目的とした学問です。授業の中であつかう心理検査や心理療法などの体験を通して、自分自身の特徴について新たな気づきを得たり、再発見したりすることを目指します。患者さんとのかかわり方や自分にあったストレスの解消方法といったことについて、今後に生かせる何らかのヒントになることを期待します。

内　　容	方　　法
1. 臨床心理学の歴史について学ぼう。	講義（4 時間）
2. 現代における様々な心の問題について学ぼう。	講義（4 時間）
3. 心理検査について学び、実際に体験してみよう。	講義・演習（4 時間）
4. 色々な心理療法について学び、実際に体験してみよう。	講義・演習（4 時間）
より具体的な内容やテーマについては、受講生の皆さんの興味や関心などを考慮しながら進めていく予定です。	

〈　評　　価　〉

授業態度と提出物を中心として総合的に評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

プリントや映像資料などを中心としながら、適宜授業の中で紹介します。

授業科目（単位―時間） 総合医療論（1 単位―15 時間）	時　　期 3 年前期・後期	担　当　講　師 岩木　宏之

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. 看護や医療の全体像を幅広く概観することができる。
2. 医療や看護の仕組み、これまでの医療の流れ、健康と病気とは何かなどの他の科目の既習内容を踏まえ、現代医療の課題とそれに対する自らの考えを明らかにすることができる。

内　　容	方　　法
1. 医療のコミュニケーションの原点 1）専門職としての医師と看護師 2）病めるものの自立への援助（パターナリズム）	講義（2 時間）
2. 医療と看護の原点 1）命について　2）健康について　3）病の体験 4）癒しの行為と癒しの知　5）チーム医療とマネジメント	講義（2 時間）
3. 医療の歩と医療観の変遷 1）現代医学の起源　2）医療観の移り変わり	講義（2 時間）
4. 生活と健康 1）生活と環境衛生、保健･福祉行政 2）疾病の一時予防と健康増進 3）障がい者のノーマライゼーションと社会的包摂（インクルージョン） 4）精神医療	講義（2 時間）
5. 科学技術の進歩と現代医療の最前線 1）科学技術の進歩と医療 2）減殺医学と先端医療技術	講義（2 時間）
6. 現代医療の新たな課題 1）薬の副作用と手術偶発 2）医療不信から賢い患者へ	講義（2 時間）
7. 臨床疫学 1）医療における合理的判断 2）医療管理学 3）情報化社会と医療	講義（2 時間）
8. 保健･医療･福祉の潮流 1）プライマリケアの新たな展開 2）地球時代における医療	講義（2 時間）

〈　評　　価　〉

レポート・学習態度等を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

小泉俊三他：系統看護学講座　別巻　総合医療論，第 3 版，東京，208p，2013.

授業科目（単位―時間） 社会福祉Ⅰ（１単位－15 時間）	時　　期 3 年 前期	担　当　講　師 足立　心一

〈　授業科目の目標・概要等　〉

社会福祉は多様に概念定義されるが、本講座では「社会成員の幸福な状態をもたらす手段、方法を意味し、さまざまな生活上の困難や障害、すなわち生活問題を解決・緩和・予防することを目的とする制度、政策、実践の総称」（「社会福祉事典」弘文堂）と社会保障概念に近い意味に捉え、これを支える制度体系の理解を促すことにある。

内　　容	方　　法
1. 社会保障（広義の社会福祉）の基盤としての社会保険制度と税制度	講義（2 時間）
2. 社会保険制度の概要	講義（2 時間）
3. 医療保険制度（医療保険制度の概要、国民医療費、診療報酬、高齢者医療確保法、後期高齢者医療制度）	講義（4 時間）
4. 公費負担医療制度（難病対策、小児の公費負担医療制度）	講義（2 時間）
5. 介護保険制度	講義（4 時間）
6. 社会保険制度（公的年金制度）	講義（2 時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキスト　〉

福田素生：系統看護学講座　専門基礎分野 社会保障･社会福祉．第 20 版，東京，医学書院，306P，2019.

〈　参考文献　〉必要時、コピーにて配布

国民の福祉の動向・厚生の指標，2020/2021，厚生労働統計協会，2020.

ミネルヴァ書房編集部編：社会福祉小六法 2021［令和 3 年版］，ミネルヴァ書房編集部，2021.

授業科目（単位―時間） 社会福祉Ⅱ（1単位―15時間）	時　　期 3年 後期	担　当　講　師 吉田　修大

〈　授業科目の目標・概要等　〉

対象の多様なニーズに応えるため、社会保障や社会福祉の制度を知り、看護職と福祉職とが協働できるための基礎知識を学ぶ。

内　　容	方　　法
1. 社会福祉の分野とサービス 1）高齢者福祉 2）障害者福祉 ①障害者基本法、障害者総合福祉法 3）児童家庭福祉 ①児童福祉法 4）その他の福祉 ①DV 防止法 ②生活保護法	講義（8時間）
2. 社会福祉実践と医療･看護 1）個別援助技術 2）集団援助技術 3）連携の重要性 4）社会福祉実践と医療･看護との実践	講義（8時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

福田素生：系統看護学講座　専門基礎分野 社会保障･社会福祉．第20版，東京，医学書院，306P，2019.

授業科目（単位―時間） 公衆衛生学（1 単位－30 時間）	時　　期 3 年前期・後期	担　当　講　師 大西　浩文・園田　智子 樋室　伸顕・大浦　麻絵・小山　雅之

〈　授業科目の目標・概要等　〉

個人や集団の健康管理に必要な知識の獲得および保健、福祉の連携のために実施されている公衆衛生活動の実態と動向を知り、その役割について考える。

内　　容	方　　法
1. 公衆衛生の概要 1) 公衆衛生の定義 2) 公衆衛生の発展と保健・医療・福祉	講義（4 時間）
2. 健康の指標 1) 衛生関係統計 2) 人口静態と人口動態 3) 健康水準	講義（8 時間）
3. 健康のリスク 1) 生活習慣病と危険要因	講義（6 時間）
4. 地域保健と行政活動	講義（8 時間）
5. 地域環境と保健	講義（4 時間）

〈　評　　価　〉

筆記試験により評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

清水忠彦、佐藤拓代編：わかりやすい公衆衛生学，第 4 版，東京，ヌーベルヒロカワ，300p，2015.
国民衛生の動向　厚生の指標　増刊　2021/2022，厚生労働統計協会，2021.

授業科目（単位―時間） 医療安全（1単位―30時間）	時　　期 2年　前期	担　当　講　師 山口　理恵・羽下　純子 齋藤　拓也・足達　勇

〈　授業科目の目標・概要等　〉

1. 専門分野で身に着けた看護技術を専門基礎分野で学んだ知識と統合し、看護実践の場で不可欠な「安全」の視点から系統的に理解することを目指す。
2. 看護事故の構造を理解することで、新人看護師として求められる「医療安全」の具体的な知識を獲得する。

内　　容	方　法
1. 医療安全を学ぶことの大切さ 1）医療安全を学ぶことの意義 (1) 人の意識状態の変動　(2) 感染症にかかわる歴史的事実と偏見 2）医療職を選ぶことの重さと安全努力の責務	講義（4時間）山口
2. 事故防止の考え方 1）医療事故と看護業務　2）看護事故の構造　3）看護事故防止の考え方 3. 診療の補助の事故防止 1）患者に投与する業務における事故防止 (1) 業務特性から見た事故防止（注射. 機器取り扱い. 輸血. 内服. 経管栄養） 2）継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 (1) チューブ管理と事故 4. 療養上の世話の事故防止 1）療養上の世話における事故の捉え方 (1) 転倒転落　(2) 誤嚥　(3) 異食　(4) 入浴 5. 業務領域を超えて共通する間違いと発生要因 6. 医療安全とコミュニケーション 7. 組織的な安全管理体制への取り組みとわが国の医療安全対策への展望	講義（10時間）羽下
8. 看護学生の実習と安全 1）実習における事故の法的責任と保障 2）実習中の事故防止 3）ハッとしたりドキドキした場面の振り返りの活用	講義（6時間）山口
9. 看護を取り巻く感染症 1）看護の役割　2）現代の感染症の問題 10. 感染予防 1）アウトブレイクへの対応 2）職業感染対策 3）予防接種とワクチン 4）脳梗塞により侵襲的処置を受ける患者の看護（ｶﾃｰﾃﾙ関連感染）	講義（6時間）齋藤
11. 医療機器の安全使用 12. 注射業務に用いる機器（輸液ポンプなど）での事故防止 1）輸液ポンプ・シリンジポンプの構造 2）ポンプ送液の仕組み 3）操作間違いによる事故の防止	講義　（4時間）足達

〈　評　　価　〉

レポート、筆記試験を総合して評価する。

〈　テキストおよび参考文献　〉

川村治子：系統看護学講座　看護の統合と実践[2]　医療安全，　第3版，東京，医学書院，295P，　2018.
香春知永：系統看護学講座　専門分野Ⅰ　臨床看護総論．第6版，東京，医学書院，386P，2016.（内容11・12のみ）
岩田　健太郎：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[11] アレルギー　膠原病　感染症，第15版，東京，医学書院，416p，2020.

授業科目（単位―時間） 関係法規（1単位―30時間）	時　　期 2年　前期	担　当　講　師 伊東　弘光・戸田　悦子

〈　授業科目の目標・概要等　〉

国民の健康や生命を守る看護専門職としての活動を、我が国の保健医療に関する各種法規を通して理解し、看護師の役割と法的責任について学ぶ。

内　　容		方　　法
1. 法の概念	1) 法の概念・法の分類 2) 憲法の基礎 3) 法の分類	講義（2時間）　伊東
2. 医療従事者に関する法律	1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律	講義（4時間）　戸田
	3) 医師法	講義（2時間）　伊東
3. 医療に関する法律	1) 医療法 2) 臓器移植に関する法律	講義（22時間）　伊東
4. 公衆衛生に関する法律	1) 地域保健法 2) 健康増進法 3) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律 4) 検疫法	
5. 医療・福祉に関する法律	1) 健康保険法 2) 国民健康保険法 3) 国民年金法 4) 介護保険法 5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律	
6. 薬務に関する法律	1) 薬事法 2) 麻薬及び向精神薬取締法	
7. 働く人のための法律	1) 労働基準法 2) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律 3) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律	
8. 看護師と法的責任	1) 医療過誤と法的責任 2) 医療過誤と看護師の法的責任	

〈　評　　価　〉

伊東講師担当分8割

戸田講師担当分2割

〈　テキストおよび参考文献　〉

森山幹夫他：系統看護学講座　専門基礎　看護関係法令，　第53版，東京，医学書院，368P，2021.